

2011-1-1

# 猫の肺

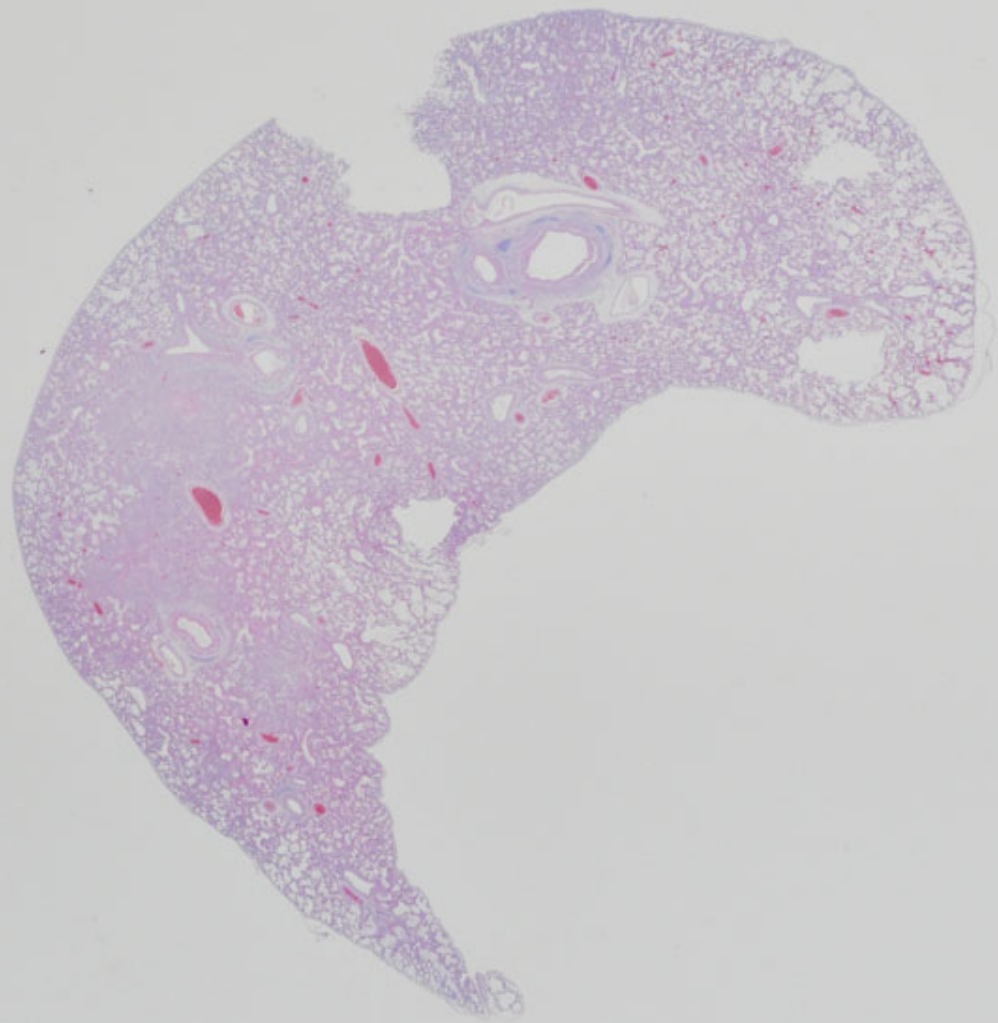
**提出機関**: Department of Molecular and Comparative Pathobiology,  
Johns Hopkins University School of Medicine, MD, USA

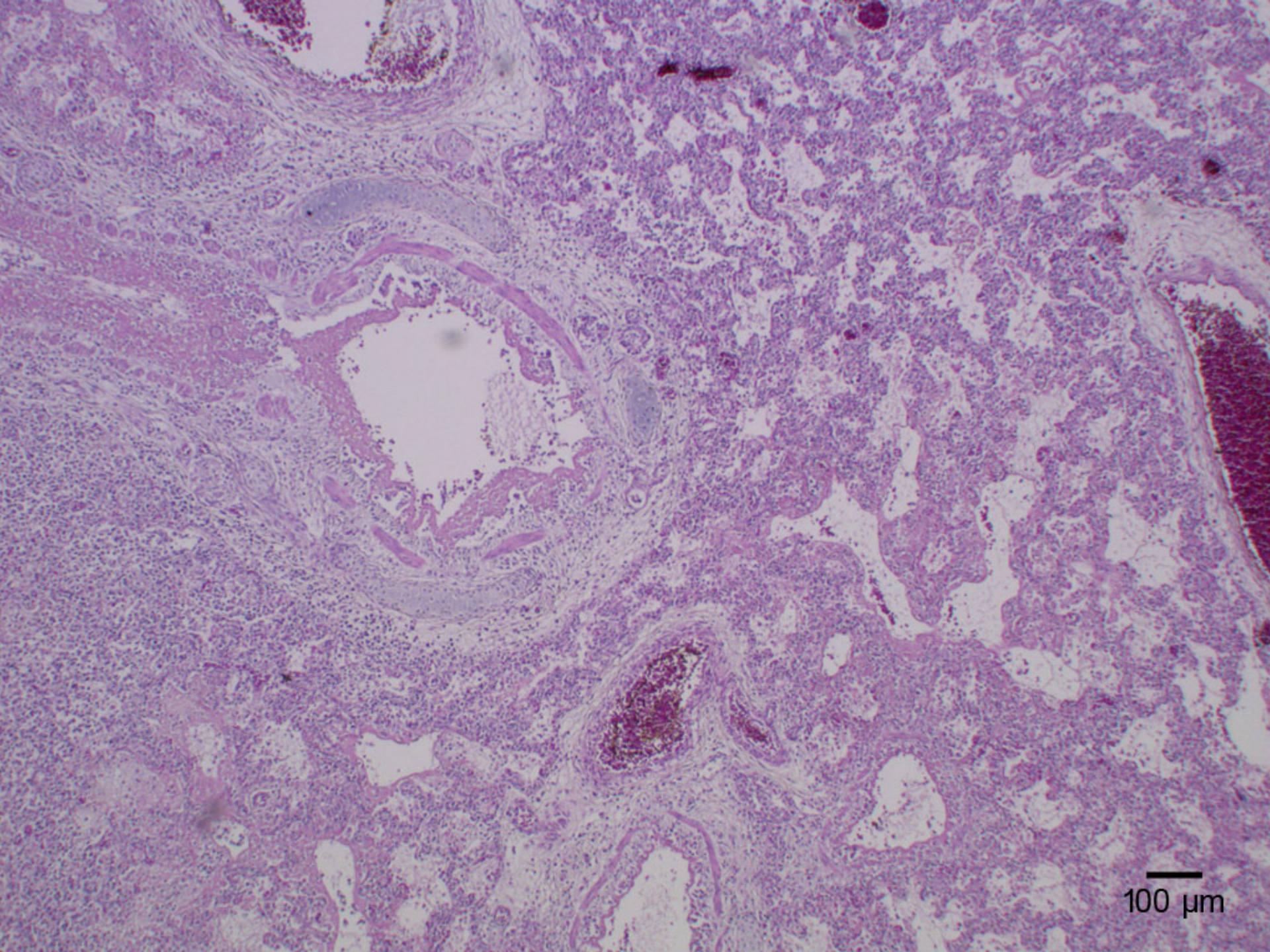
**症例**: 3週齢の短毛の家猫 (*Felis domesticus*)

**病歴**: 数日間、上部気道の呼吸器症状を呈していた子猫が呼吸困難となり、救急病院への搬送途中で死亡。

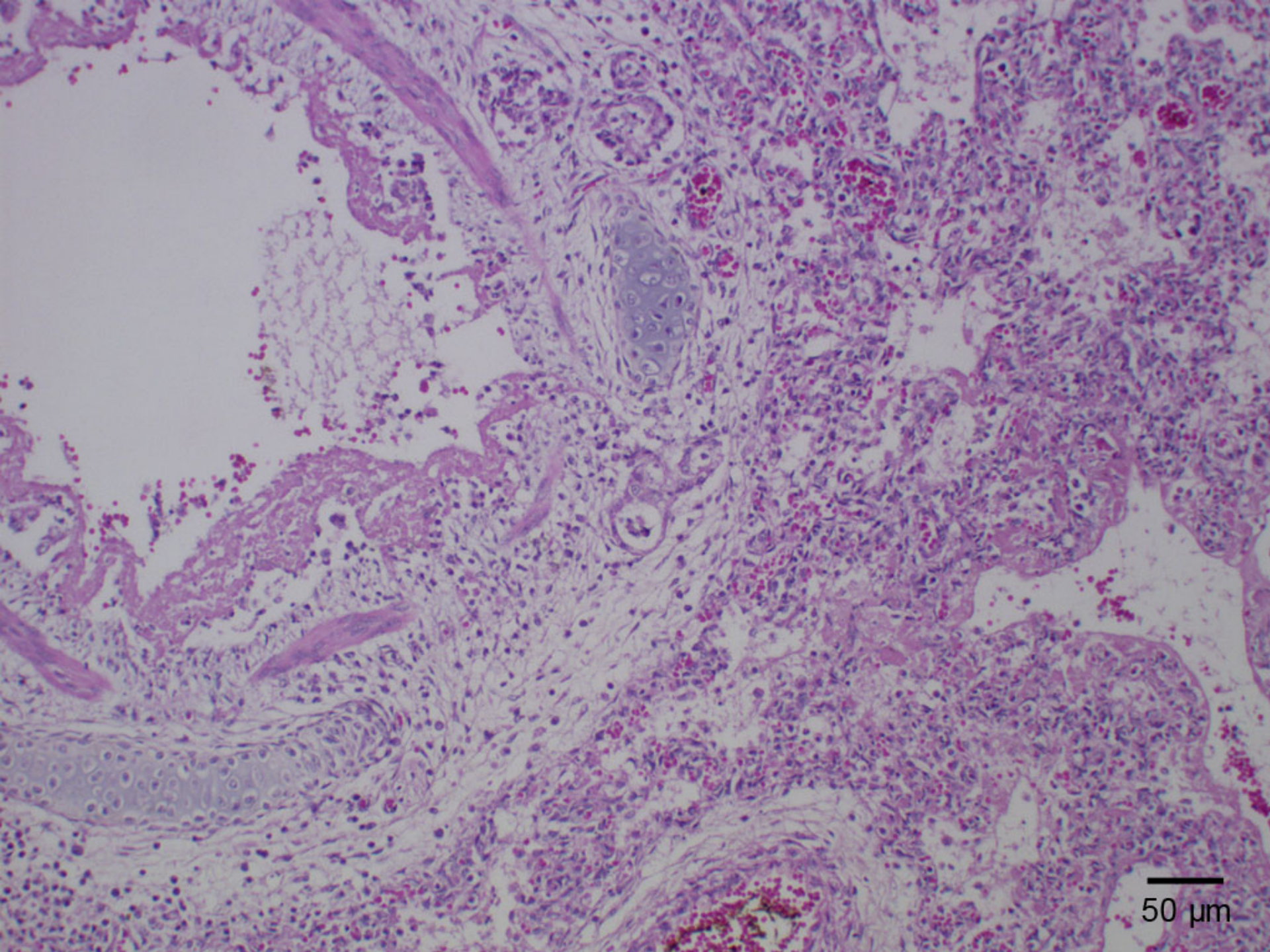
**肉眼病変**: 肺は虚脱せず、褐色と桃色にまだらでゴム状を呈す。

**組織病変**: 肺の80%以上で、重度の炎症、壊死、血管周囲と肺胞内浮腫がみられた。肺胞壁の壊死が多発性に観察された。壊死巣周辺では、リンパ球とマクロファージの浸潤による肺胞壁の肥厚がみられた。細気管支・気管支では、上皮の脱落と線維素析出がみられた。肺胞および気管支腺上皮細胞に好酸性核内封入体が認められた。

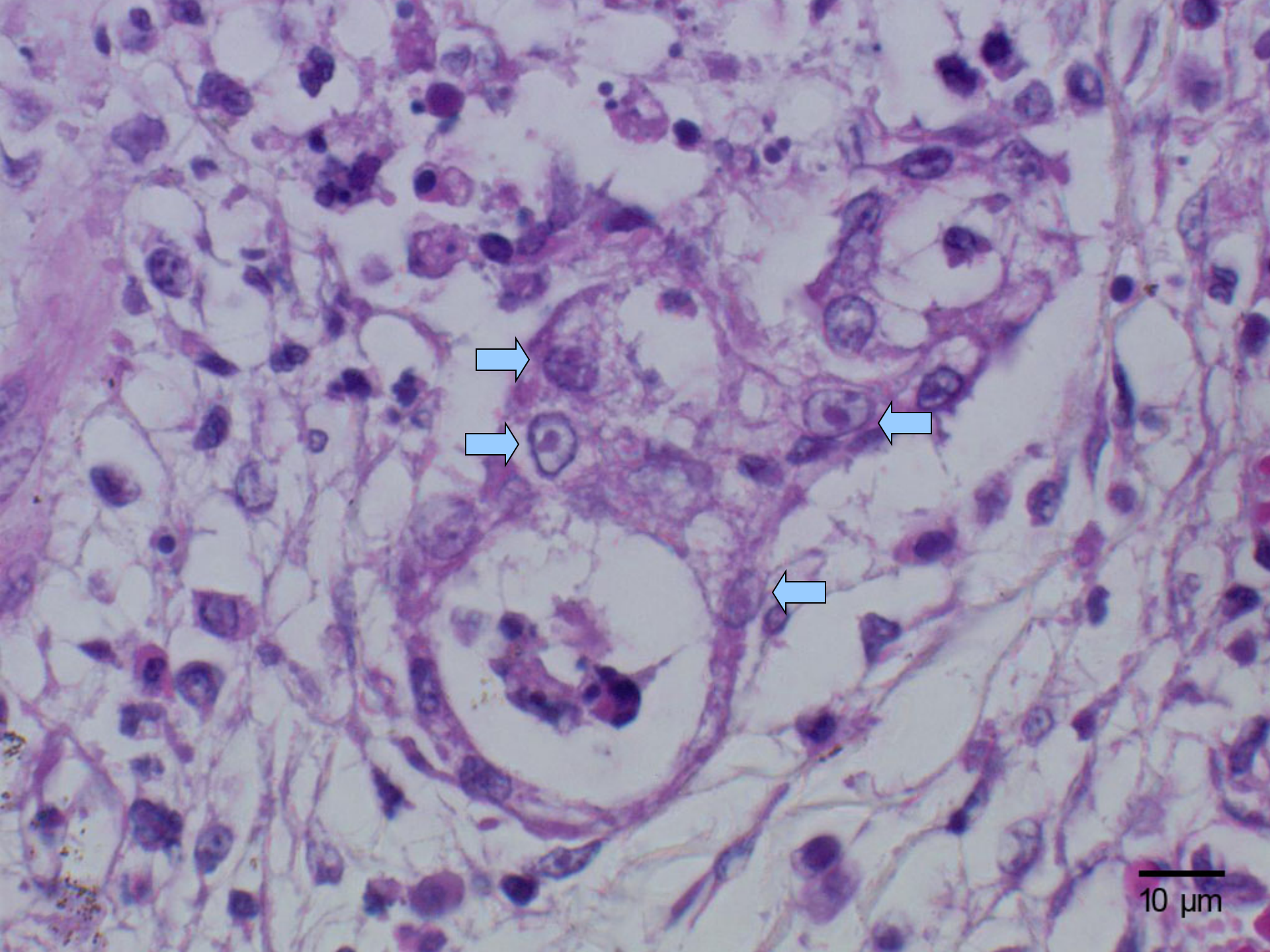




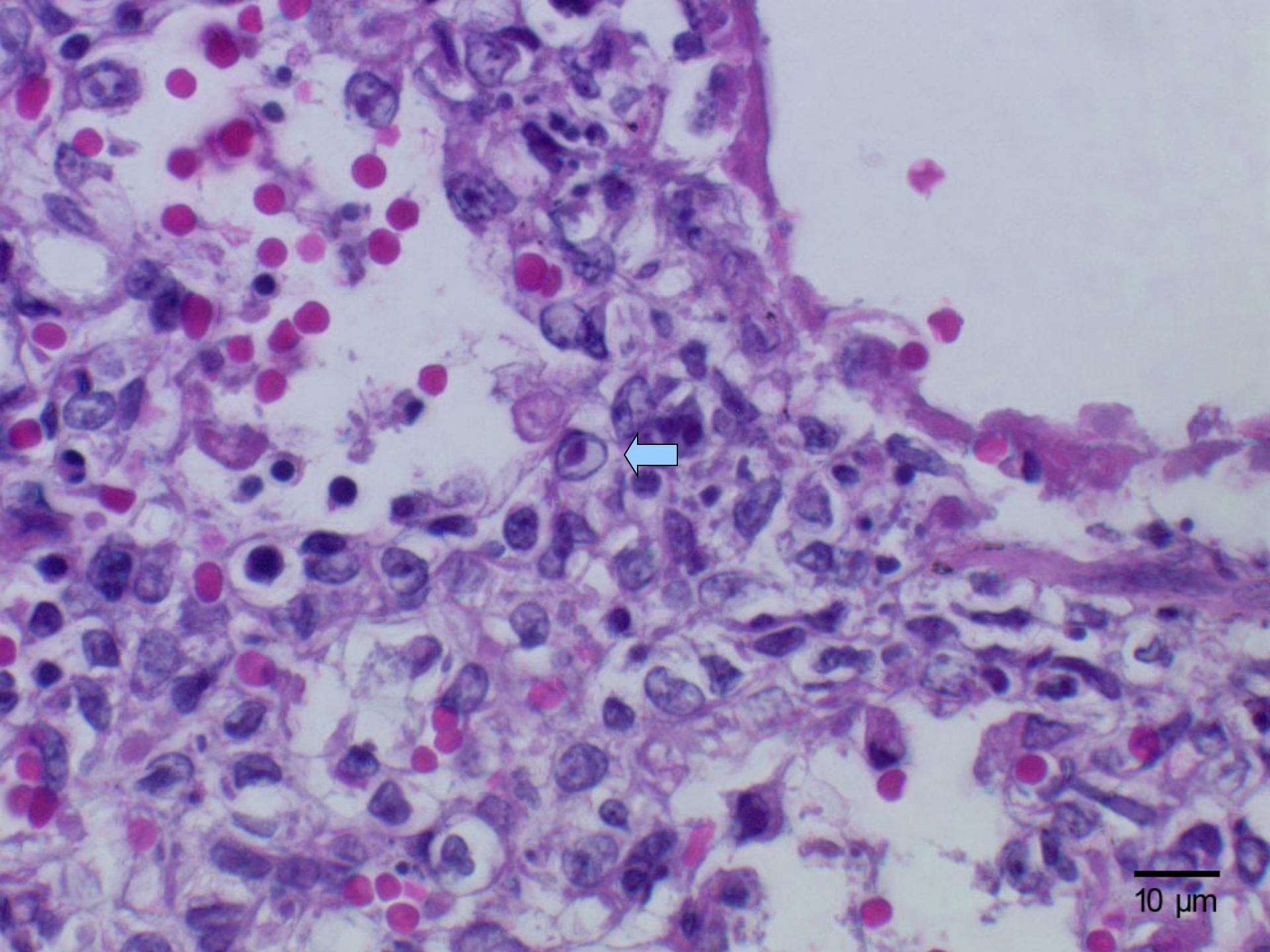
100  $\mu\text{m}$



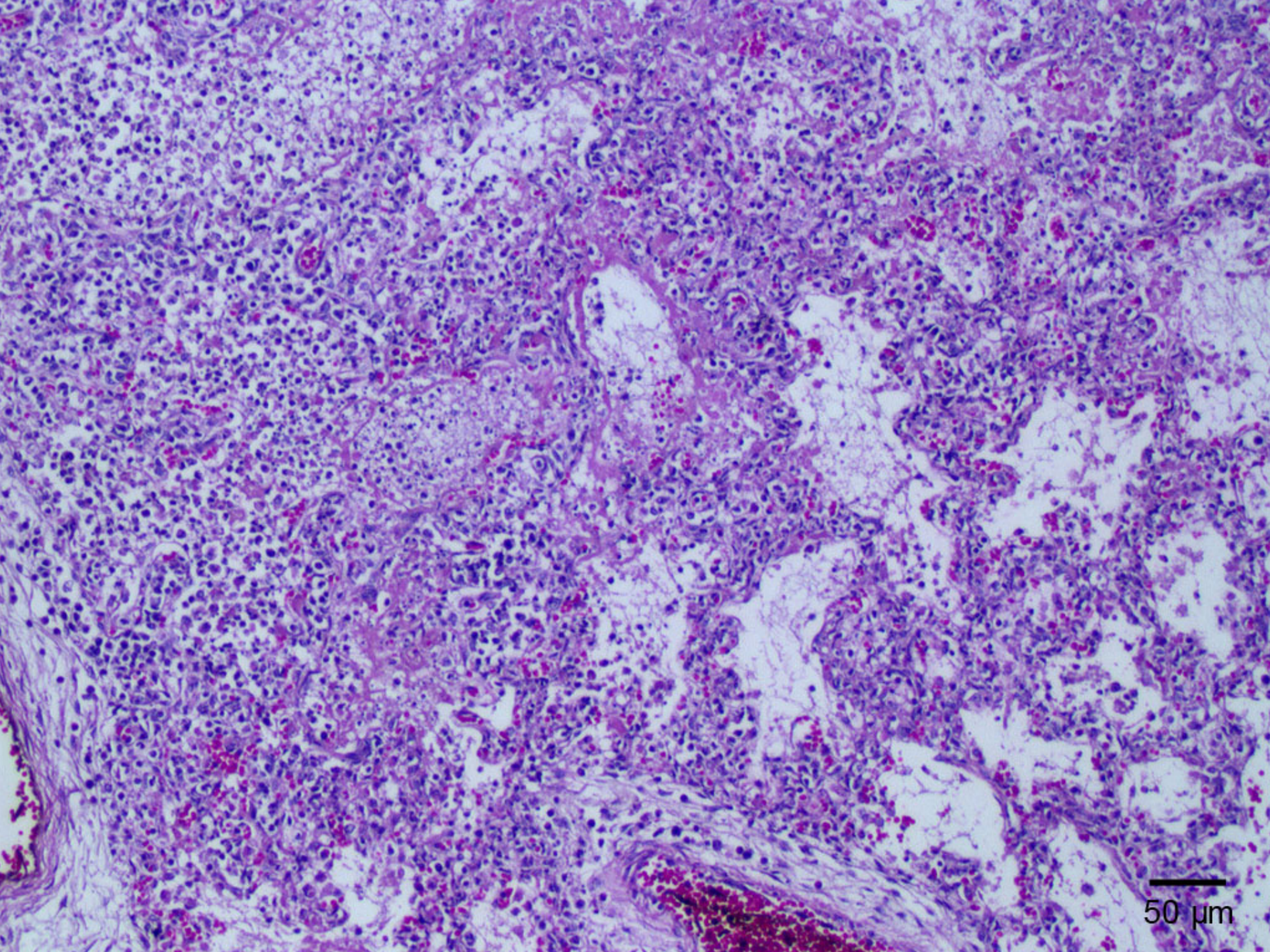
50  $\mu$ m



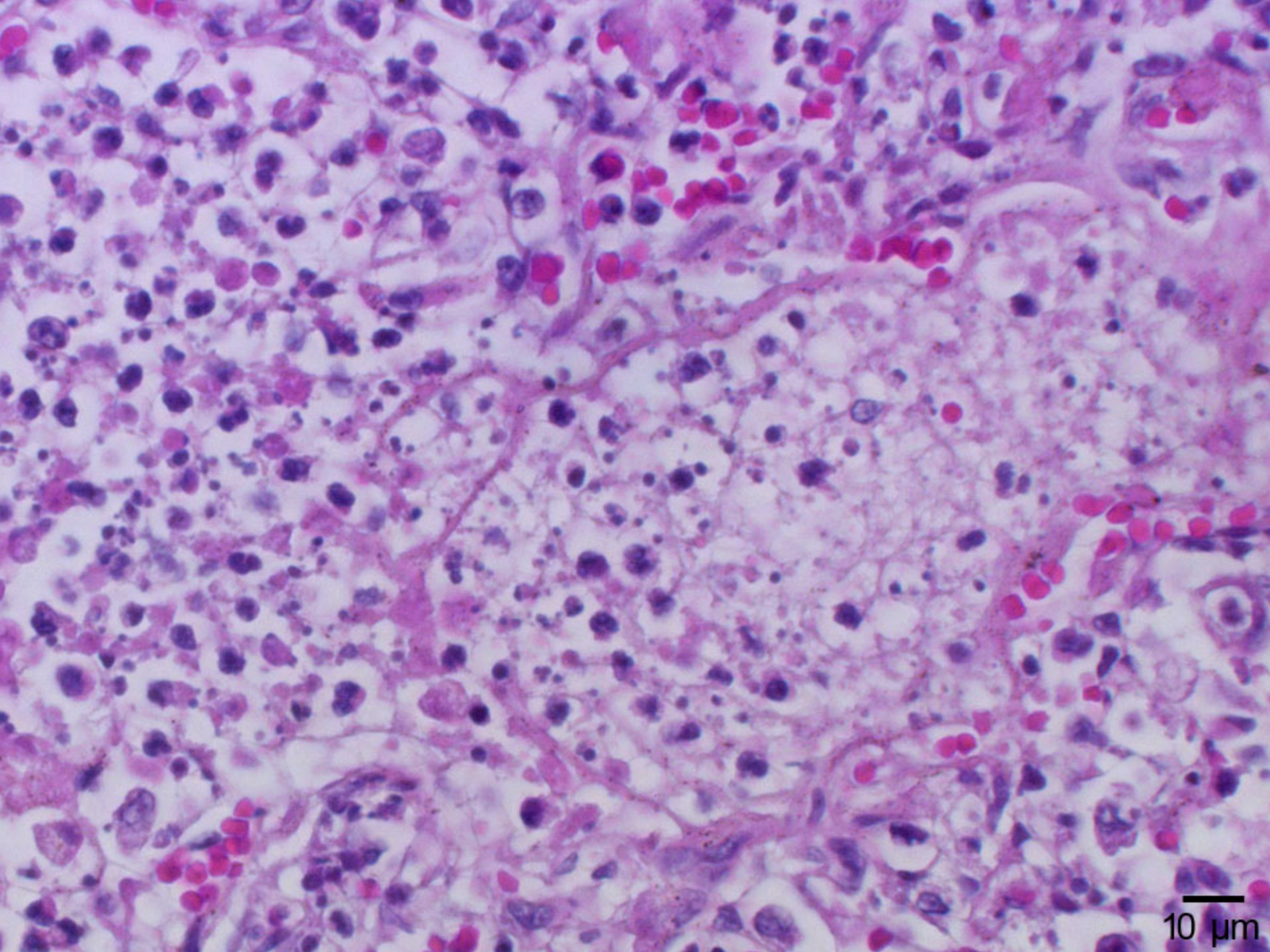
10  $\mu$ m



10  $\mu$ m

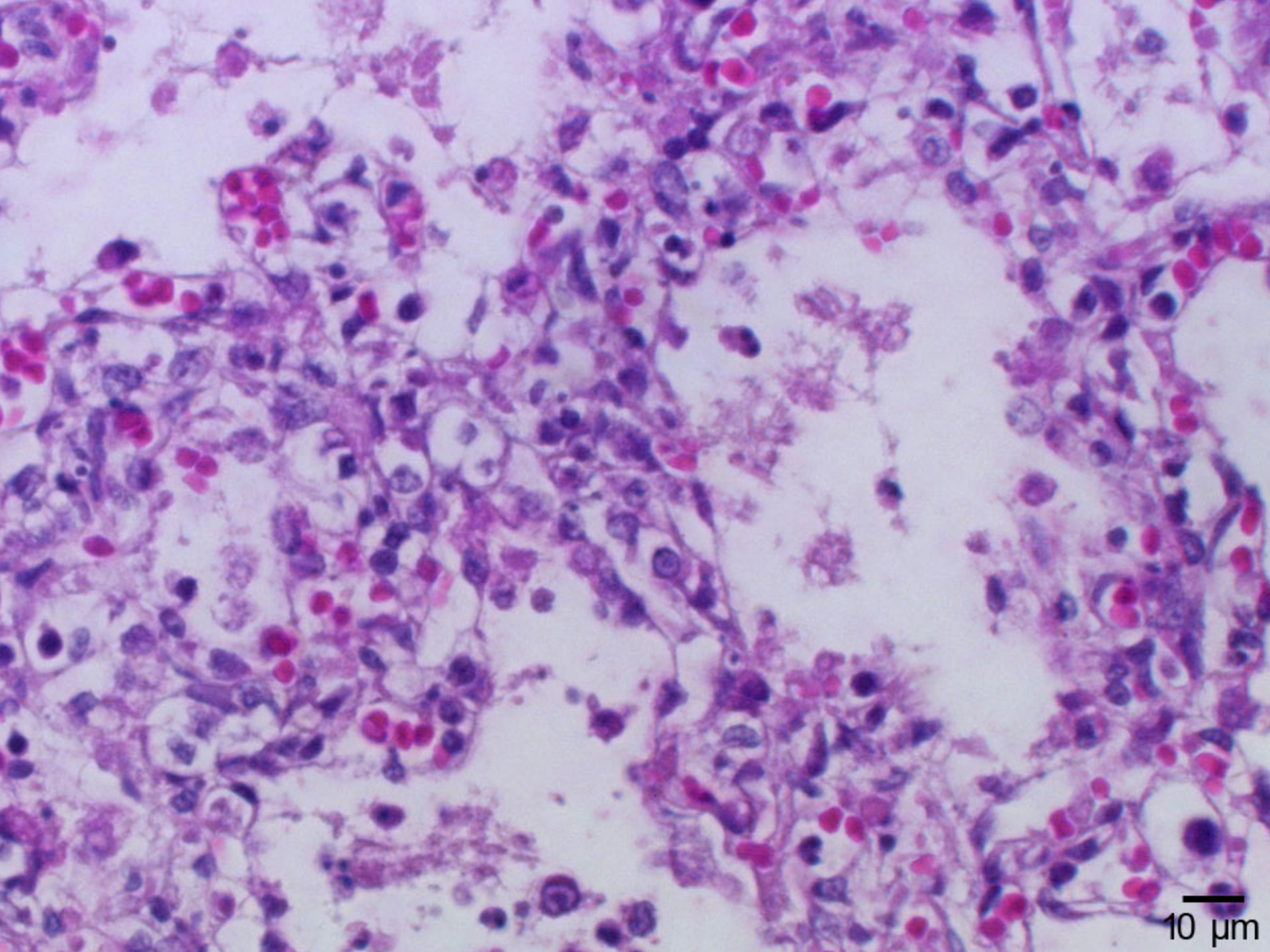


50 μm

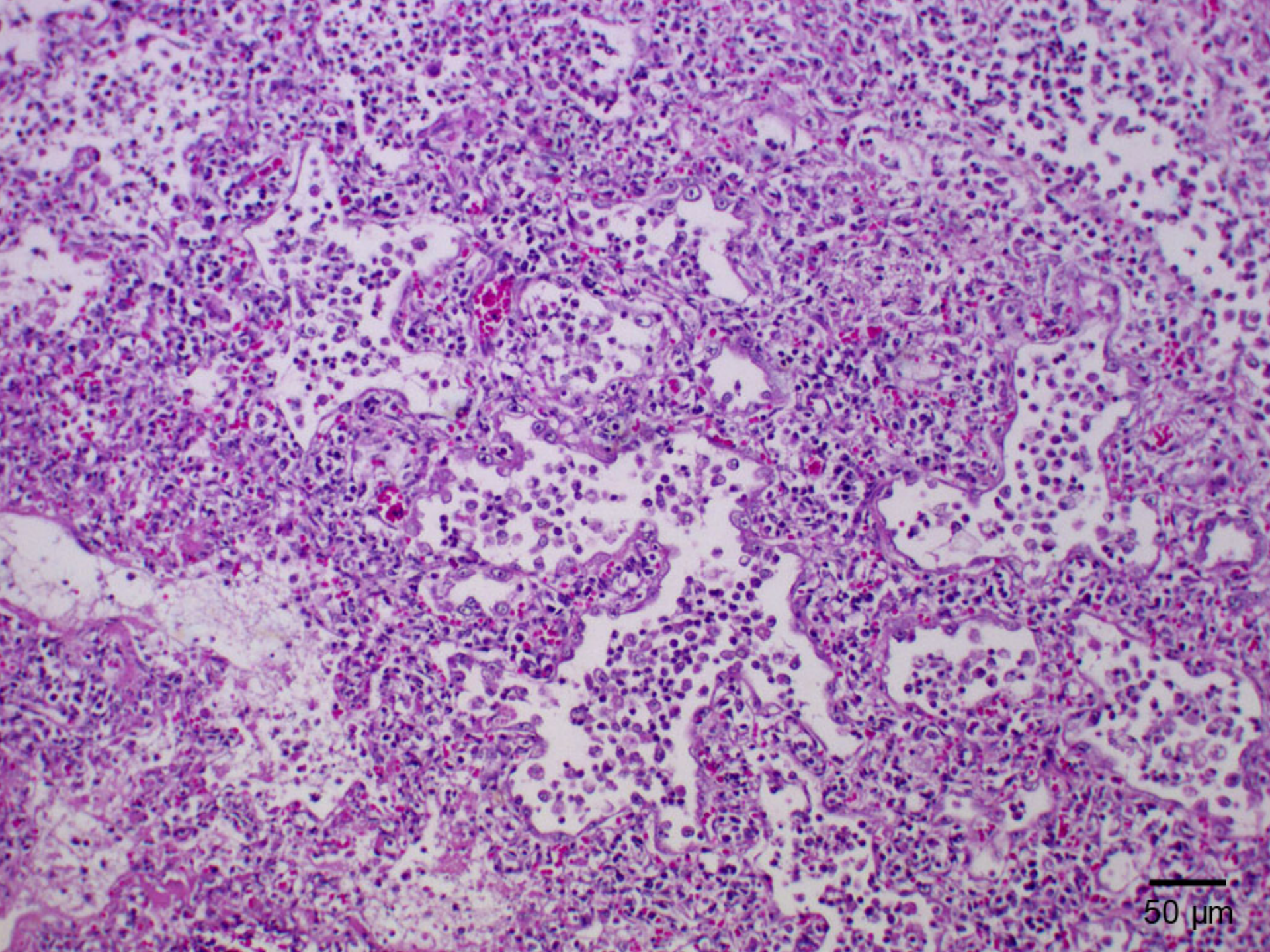


10 μm

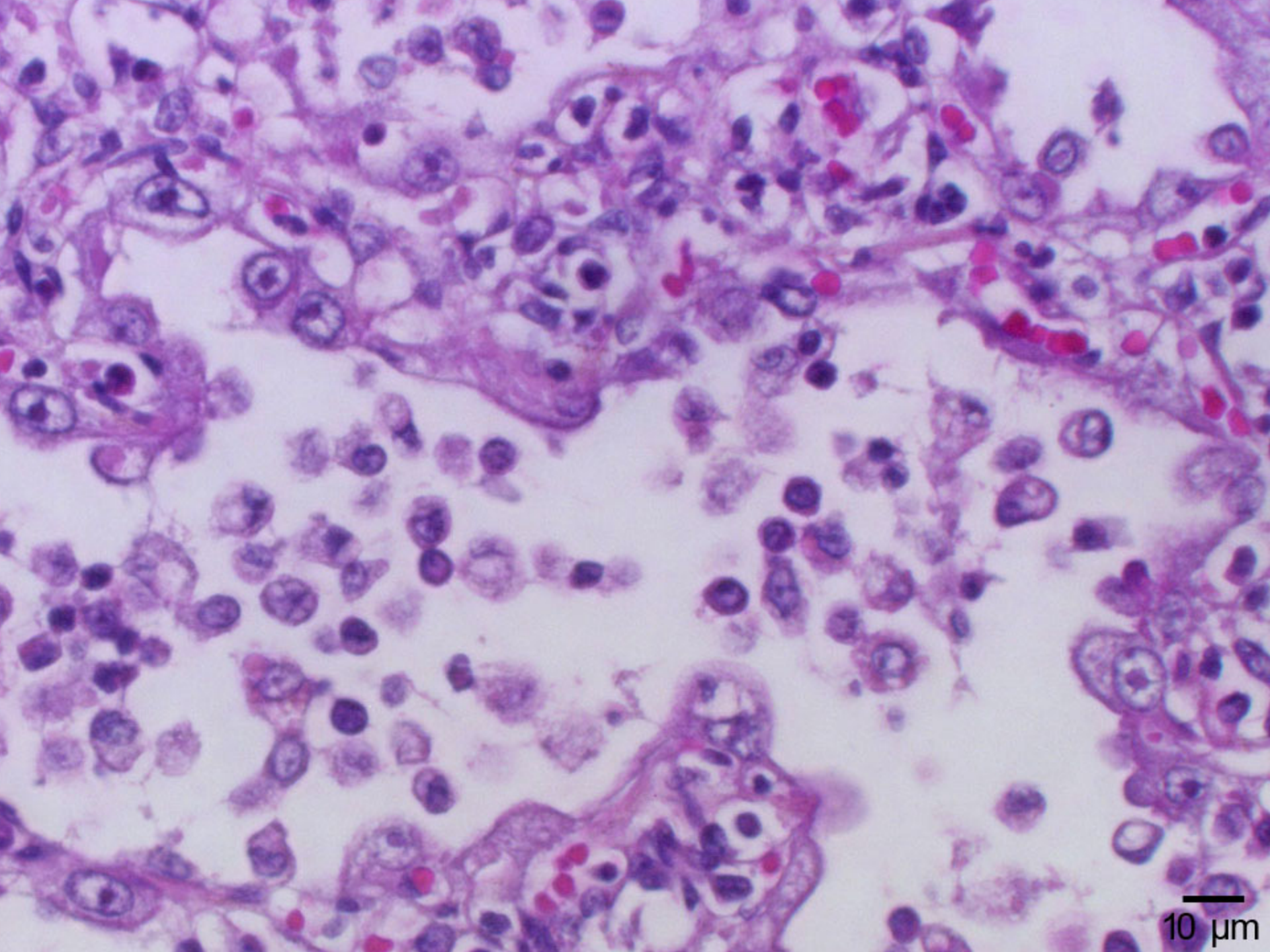




10  $\mu$ m



50  $\mu$ m



10  $\mu$ m

## ● 提出者の診断

肺：気管支間質性肺炎、急性、壊死性及び線維素性、多発性～融合性、重度、血管周囲浮腫・II型肺細胞過形成・反応性中皮細胞及び好酸性核内封入体を伴う

Lung, Bronchointerstitial pneumonia, acute, necrotizing and fibrinous, multifocal to coalescing, severe, with perivascular edema, type II pneumocyte hyperplasia, reactive mesothelial cells, and intranuclear inclusion bodies.

## ● JPCの診断

肺：肺炎、気管支間質性、壊死性、急性、びまん性、重度、好酸性核内封入体を伴う、ネコヘルペスウイルス-1に起因

Lung: Pneumonia, bronchointerstitial, necrotizing, acute, diffuse, severe, with eosinophilic intranuclear inclusions, etiology consistent with feline herpesvirus-1.

## ● 提出者コメント

- 1) 今回の症例は、核内封入体と壊死がネコヘルペス I 型感染症に最も一致する。
- 2) ネコヘルペスウイルス I 型 (FHV-1) は、ネコ科に感染するアルファヘルペスウイルス。抗原的にイヌヘルペス I 型及びアザラシのヘルペス I 型に類似している。
- 3) ウイルスの特徴は、呼吸器の上皮細胞壊死、フィブリンの析出、好中球浸潤。核内封入体は、通常、急性期に認められる。
- 4) ネコでは通常、上部気道感染が一般的であり、くしゃみ、食欲不振、発熱、結膜炎、涙と鼻汁が流出するのが特徴。肺炎はまれで、若齢または衰弱した動物だけに認められる。
- 5) FHV-1 とネコカリシウイルスの混合感染がしばしば見られる。

## ● 会議でのコメント

- 1) 一般的に肺の炎症は、気管支炎/細気管支炎、気管支肺炎、間質性肺炎、気管支間質性肺炎及び栓塞性肺炎に分類される。
- 2) 当該症例は、気管支間質性肺炎の一症例であり、肺胞損傷と重度の気管支上皮細胞壊死を特徴とする。気管支間質性肺炎の原因は、ウイルス感染または中毒である。気管支間質性肺炎は間質性肺炎の一形態で、肺胞壁または小葉間結合組織の炎症を特徴とする。FHV-1 感染では、壊死、好中球浸潤、フィブリン析出が特徴である。
- 3) 気管支腺はネコの肺で発達している。FHV-1 感染では、壊死や封入体形成は、気管支腺で特に明瞭なため、ネコ科の肺の病理組織学的検査では、常に気管支腺を観察する必要がある。